

「これから仕事と介護の両立支援の取組を始めたい」、「仕事と介護の両立支援の取組として何をすればいいのかわからない」という企業の経営者・人事担当者等を対象とした、介護離職を予防し、仕事と介護の両立を支援するための具体的取組方法・支援メニュー（職場環境モデル）（平成25年度構築）

－企業における仕事と介護の両立支援の取組－



1 従業員の支援ニーズの把握

- 全社的なアンケート、育児休業制度などの利用者を対象としたヒアリング、上司による面談・人事面談等を通じた把握等による把握

2 両立支援制度の設計・見直し

- 介護休業制度などの制度が従業員のニーズに合っているかどうか、制度の利用状況や離職の状況などとあわせて確認
- 介護の問題に直面した経験のある従業員や、介護に係る支援制度を利用した従業員へのヒアリングによる見直しも効果的

3 介護に直面する前の従業員への支援

- 介護に関する一般的な知識や情報の提供をはじめとしたセミナー等を開催（従業員の不安を解消し、事前準備を促す）
- 利用可能な両立支援制度を分かりやすく周知（就業規則の明示、ハンドブックの作成、イントラネットへの掲載など）
- 従業員同士の情報交換や地域の相談窓口情報の提供（介護に係る悩みの軽減につなげる）

4 介護に直面した従業員への支援

- 支援制度の利用サポート（人事担当部門や外部の専門機関が、介護に直面した従業員や上司の相談にのるなど）
- 社内の相談窓口等で相談対応ができるような体制を整える
- 地域の相談窓口や地域の介護サービスにアクセスするための情報を提供

5 働き方改革（働き方の柔軟化の推進）

- 日ごろの働き方を見直し、すべての従業員に「時間制約」があることを前提とした職場環境を整備
- 従業員の多様なニーズに応じて、働く時間や場所など多様な選択ができる対応を行うことが望ましい